第３章 アクションプラン

リーディングプロジェクトに取り組むワーキング

目標・方針・目指すべき将来像を踏まえて、６つのワーキンググループにてリーディングプロジェクトに取り組んでいきます。

高台まちづくり

大きな水害に備え、高台を把握・整備する活動を進めます。水害により想定される被害の大きさを把握し、必要な高台を検討していきます。

食文化の振興

個性ある食や人々の魅力を伝えるため、地域で愛されるお店を取材しSNS等で発信します。新メニュー開発や食べ歩きマルシェの実現も目指します。

防災まちづくり

多種多様な人が災害時に困らないために、使いやすいデジタルツールの導入とサポートを強化すると共に、日常的に水辺を活用する機会を創出します。

歴史文化の発信

まち歩きやワークショップを通して、浮世絵や歌舞伎、神社仏閣など、亀戸にまつわる歴史文化を再発見し、発信していきます。

南北の連携強化

誰もが安心して移動できる動線を整備するため、バリアフリー化の検討を進めるとともに、線路下通路を含めた南北動線における魅力向上や快適な歩行環境の創出を目指します。

清掃/美化活動

きれいな街並みを形成・保全するため、花壇管理や清掃活動を行っている団体の活動を支援します。各団体が連携できる環境の構築も目指します。

高台まちづくりワーキング

大きな水害に備え、高台を把握・整備する活動を進めます。水害により想定される被害の大きさを把握し、必要な高台を検討していきます。

■ 高台マッピングプロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 江東区と協定を結んでいるマンション等実態を把握する。
- 浸水高さをAR等で確認しながら、上層階に避難可能な規模のスペースを有する建物がどこにあるかを調べる。
- 日常的に入れるスペースか、有事の際にのみ入れるように働きかけるスペースかを把握する。
- デジタルツールを用い、マップ上に高台をマッピングする。
- 外国の方でも理解ができるよう工夫する。

《対象となるエリア》

亀戸駅周辺、浸水深が高いエリア

《はじめに取り掛かること》

高台探しのまち歩き

■ 高台づくりプロジェクト

《プロジェクトの目的と方向性》

- 高台マッピングプロジェクトを実施した上で、どのエリアの高台が不足しているかを把握する。
- 高台を新しく創出する可能性を探るため、長い時間をかけて土地・建物の所有者と共に検討を重ねる。
- 特に来街者が多く帰宅困難者の受け入れも考えられる亀戸駅周辺においては、有事の際にも分かりやすく収容人数も多い高台の整備を目的として、江東区とも調整しながら整備方針をまとめる。

《対象となるエリア》

亀戸駅周辺

《はじめに取り掛かること》

高台が不足しているエリア把握

防災まちづくりワーキング

多種多様な人々が災害時に困らないために、使いやすいデジタルツールの導入とサポートを強化すると共に、日常的に水辺を活用する機会を創出します。

■ デジタル安否確認プロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- LINEのオープンチャットなどを活用したプラットフォームの作成。災害時における避難所等の案内や、避難が困難な人の支援、安否確認をできる機能をインプットする。
- スマホを持ちながらデジタル防災訓練を実施。
- 近隣中学校の学生（ジュニアリーダー）にも協力を求め、スマホ講座の実施により高齢者や外国人もLINEを使えるようにサポートする。
- ベランダ栽培をテーマとした活動をLINEオープンチャットでシェアするなど日常的な会話を促進。

《対象となるエリア》

亀戸全域（防災訓練にあたってはエリアを絞る）

《はじめに取り掛かること》

LINEオープンチャットの開設、スマホ講座の実施

■ 親水防災プロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 亀戸の外周を囲う河川を活用し、水辺に親しみながら、正しく水害を恐れる機会をつくる。
- ゴムボート等で水害対応訓練を実施し、カヌーやボートに乗るコミュニティとの連携可能性も探る。
- 亀戸外周河川沿いマラソンやウォーキングイベントなどを実施し、特に氾濫・水没の可能性が高い地域を把握する。
- 在宅避難をすべき時と避難すべき時を適切に判断できるよう、基礎的な防災知識を共有する。

《対象となるエリア》

亀戸外周

《はじめに取り掛かること》

ゴムボート体験、亀戸外周河川沿いマラソンを実施

南北の連携強化ワーキング

誰もが安心して移動できる動線を整備するため、バリアフリー化の検討を進めるとともに、線路下通路を含めた南北動線における魅力向上や快適な歩行環境の創出を目指します。

■ 快適な移動ルートづくりプロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 亀戸駅周辺のバリアフリー状況や公共交通の充実度について調査する。
- 交通結節点において、地域課題を踏まえ、バリアフリー化・移動円滑化のための方法を検討する。
- 夏季でも快適に歩ける日陰やクーリングスポット等休憩所の位置を調べ、デジタルマップなどで共有する。
- 快適な歩行者空間の在り方を検討し、整備方針をまとめる。

《対象となるエリア》

亀戸駅周辺

《はじめに取り掛かること》

バリアフリー状況や公共交通の充実度の調査
日陰マップづくり

■南北をつなぐ魅力的な歩行空間プロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 線路下通路を含む南北動線について、安全で快適な歩行環境の確保に加え、アート等も含めた空間の魅力向上方策を検討する。
- この取組では、空間デザイン等の専門家が主軸を担いつつ、地域企業との連携、ワークショップ等を通じて地域のこどもや住民が参加する機会を創出する。
- 亀戸駅南北をつなぐ線路下通路を起点としつつ、亀戸内の各資源がつながるような仕掛けを検討する。

《対象となるエリア》

明治通り

《はじめに取り掛かること》

線路下通路の魅力向上に向けたワークショップやイベント等の実施

食文化の振興ワーキング

個性ある食や人々の魅力を伝えるため、地域で愛されるお店を取材しSNS等で発信します。新メニュー開発や食べ歩きイベントの実現も目指します。

■「食と人生」個性発信プロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 地域の特徴的なお店や思い入れのあるお店について、その個性的な店主の人生とあわせて取材し発信する。
- 発信媒体は地域SNSやフリーペーパー、地域ウェブサイト等。
- 取材先のお店とのコラボで、マルシェとの連動や、亀戸の新メニュー（亀戸大根を活かしたものや季節感のあるもの、まったく新しいものなど）開発にもつなげる。
- メニュー開発にあたっては食品ロス削減やサステナブルな素材選定など資源循環も意識する。

《対象となるエリア》

亀戸全域

《はじめに取り掛かること》

取材と地域SNSでの発信

■食べ歩きマルシェプロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 沿道のお店に参加してもらい、亀戸のB級グルメなどを楽しめる食べ歩きマルシェを実施。
- 十三間通りの歩行者天国との連携を目指す。現在は食べ物の提供にハードルがあるので、関係各所に相談し手法を調査する。
- 店舗が連なる亀戸駅南の横丁や、滞留空間のある竪川河川敷付近など、十三間通り以外についても実施を検討する。
- 個性発信プロジェクトと連動し、取材店舗の参加や新メニューのアピールなど、コンテンツに反映させる。

《対象となるエリア》

十三間通り商店街のほか、亀戸駅南の横丁や竪川河川敷など

《はじめに取り掛かること》

障害となる制度の勉強、手法の検討

歴史文化の発信ワーキング

まち歩きやワークショップを通して、浮世絵や歌舞伎、神社仏閣など、亀戸にまつわる歴史文化を再発見し、発信していきます。

■ 浮世絵スポット巡りプロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 亀戸の浮世絵文化や歌舞伎文化について改めて共有する機会をつくる。
- 浮世絵を設置できる場所を探し、浮世絵スポットを増やす。
- デジタルツール等を用いて浮世絵スポットマップを作成し、浮世絵スポット巡りツアーを開催する。
- ツアー参加者には感想をSNSやブログ等で発信してもらうことで、ツアーの認知度を高める。

《対象となるエリア》

亀戸駅周辺

《はじめに取り掛かること》

浮世絵や歌舞伎に関連した文化を共有する
浮世絵を設置できそうなスポットを探す

■ 歴史資源再発見プロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- まち歩きや文献資料の調査等、亀戸の歴史資源を見つけることができるワークショップの内容を検討する。
- 浮世絵や歌舞伎だけでなく、祭文化、古道や古くから続く神社仏閣など、亀戸にある歴史資源を再発見するワークショップを行う。
- デジタルツール等を用いながら、歴史資源マップを作成し、発信する。
- 江戸文化にまつわる歴史資源の再発見とともに、江戸時代の循環型社会からリサイクルの精神を学ぶ。

《対象となるエリア》

亀戸全域

《はじめに取り掛かること》

歴史資源を再発見する方法のアイデア出し

清掃/美化活動ワーキング

きれいな街並みを形成・保全するため、花壇管理や清掃活動を行っている団体の活動を支援します。各団体が連携できる環境の構築も目指します。

■まちなかフラワープロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 花壇をキレイに維持するため、花壇の管理をしているボランティア団体をリスト化し、アプリ等で各団体の活動を共有して連携を図る。
- 花壇を作ってほしい場所や鉢植えを置きたい場所を募集し、まちなかの花や緑を増やすと共に、水やりなどの管理を行うコミュニティを育む。
- 花壇作りにあたっては、フジやアジサイなど亀戸らしいみどりを取り入れたり、東京都や江東区のみどりの整備活動と連携する。
- 土捨て場を設置し、土を花壇に再利用すると共に、コンポストのチャレンジも検討する。

《対象となるエリア》

十三間通り、亀戸五丁目中央通り商店街

《はじめに取り掛かること》

他団体へのアプローチや新たな仲間を増やす
花壇を作れる場所や鉢植えを置ける場所を探す

■地域クリーンアッププロジェクト

《プロジェクトの実施内容》

- 江東区アダプトプログラム等と連携し、清掃団体をリスト化する。
- 清掃団体の連携を強化するため、各団体の清掃活動を共有するアプリを開発し、清掃状況を見える化する。
- ごみ拾いイベントやごみ拾いアプリの導入など楽しくクリーンアップできる仕組みを考える。
- 清掃が行き届いていない場所や時間はシルバー人材と協力し、綺麗な環境を維持する。
- 清掃活動について江東区とも連携を図る。

《対象となるエリア》

亀戸全域

《はじめに取り掛かること》

清掃活動に参加し、活動状況を把握する

コラム

未来ビジョンのヒント

社会情勢を捉えた新たな視点

近年は地球温暖化やAIの発達やデジタル化の加速など、様々な社会情勢の変化から私たちの生活に大きな影響が出てきています。目の前の課題だけではなく、そのような世界規模での変化も視点として取り上げながら、これからのアクションを起こしていくことが大切です。

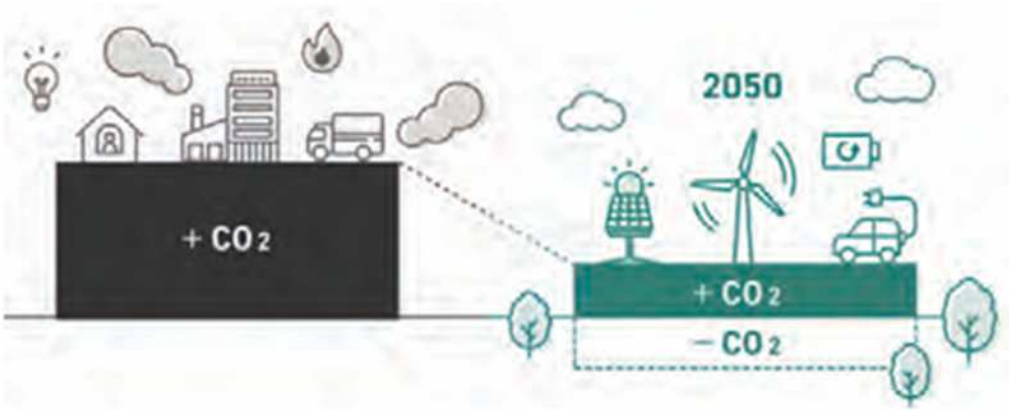
●プロジェクトに取り組む際の重要な視点

視点①：地球温暖化へのスモールアクション

亀戸で心配される水害も地球温暖化による異常気象等が原因。生活者一人一人のエコな心掛けを意識します。

視点②：デジタルツールの導入

多様な人々のネットワーク形成や担い手不足を補うデジタルツールを導入しながらプロジェクトを進めます。



ゼロカーボンシティのイメージ（出典：環境省）



デジタルツール導入のイメージ（江東区）